

## 女性事務職の制服廃止や性別を超えたチーム体制を確立

技術者が大半を占める企業でありながら、理系出身の社員にこだわらず文系男女社員を採用し、今年度は中国とベトナム出身者を採用。事業も電気・通信工事から防災・太陽光発電を中心にエネルギー分野まで幅を広げています。

人材と仕事で多様性のある会社を目指している株式会社イトラストでは、長岡市の推進する産学官の連携に早くから参加、4年前からは長岡技術科学大学や長岡工業高等専門学校とタッグを組み、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択され、ダイバーシティ事業に取り組んでいます。これにより管理職の意識にも変化をもたらし、男性の育児休暇取得や女性活躍推進に向けた取り組みが加速しているそうです。

職人気質の技術者が多い職場の中で事務職として働く女性社員柳通さんも、文系出身ながら第二種電気工事士の資格を取得する際に協力してもらえたといい、将来的には管理職になることをモチベーションに長く仕事を続けていきたいと

話しています。

働き方改革のひとつとして、有給休暇を時間単位で取得できる制度があり、気軽に取れるとあって男性社員が家族の介護や病院の付き添いに参加できるようになりました。また、1人に負荷が集中しないように、若手とベテランがチームになって仕事をする体制や、女性の可能性を広げるために固定観念をなくしたいと事務職の制服を廃止しました。

株式会社イトラストはお客様、地域、社員の信頼を糧に、人と仕事の多様性を実現しながら世界に通用する企業へと変革を続けています。



取材協力：藤井 芳輔様 ※東京勤務（経営管理本部 財務課 担当課長）  
柳通 茜音様（電気設備本部 企画開発部 産業機器課）

会社 HP は  
こちらから



(株)イトラスト